

神が、もろもろの民の言語を変えて、純粋な言語にされ、一つ思いで主に仕える、とは

はじめに

兄弟たちが一つ **תְּהִי** になってともに生きる、一つ **תְּהִי** の国、ただ一つ **תְּהִי** の日、主は唯一 **תְּהִי**、御名も唯一 **תְּהִי**、おおかみと小羊は、一つ **תְּהִי** になって食べ、一切のものがキリストにあって一つ **תְּהִי** に集められる、新しい一人 **תְּהִי** の人など、千年王国の表現として、**תְּהִי** (エハード) が数多く登場します。(詩篇 133:1 (**תְּהִי** の関連語)、エゼキエル 37:22、ゼカリヤ 14:6、ゼカリヤ 14:9、ゼカリヤ 14:9、イザヤ 65:25 (回復訳) エペソ 1:10、エペソ 2:15)

ゼパニヤ書 3章9-10節 (回復訳 3:9) (English Standard Version 3:10)

3:9 まことに、その時、わたしはもろもろの民の言語を変えて、純粋な言語にする。彼らはみなエホバの御名を呼び求め、一つ **תְּהִי** 思いで彼に仕える。

3:10 クシュの川々の向こうから、わたしの崇拝者たち、わたしが散らした者たちの娘が、わたしへの捧げ物を携えて来るだろう。

今回はゼパニヤ書の御言葉から、千年王国において、言語が変えられ、一つ思いで彼、すなわち主に仕えるとは、どういうことなのか、考えてみたいと思います。

1. もろもろの民、とは

① 「一つ思い」から考える「もろもろの民」とは、セムとヤフェテの子孫

(回復訳) ゼパニヤ書 3章9節

3:9 …彼らはみな…一つ思い **תְּהִי סֶמֶת** で彼に仕える。

「一つ思い」と訳された原文は、**תְּהִי סֶמֶת** (シェーム エハード) で、直訳は、一つ肩、です。**סֶמֶת** (シェーム) の初出箇所を見えます。

(新改訳 2017) 創世記 9章23節

9:23 …セムとヤフェテは上着を取って、自分たち二人の肩 **סֶמֶת** に掛け、うしろ向きに歩いて行って、父の裸をおおった。…

天幕で裸になったノアをおおうために、セムとヤフェテの肩に上着が掛けられました。セムとヤフェテの子孫は、それぞれの地に、言語ごと、氏族にしたがって国民となりました。(創世記 10:5、31-32) したがって、ゼパニヤ書 3:9 の、「一つ思い (一つ肩)」から見えてくる、言語が変えられる、もろもろの民とは、セムとヤフ

エテの子孫であると、考えることができます。

② クシュの川々の向こう、主が散らした者たちの娘とは、ハムの子孫

(English Standard Version) ゼパニヤ書 3章 10節

3:10 クシュ כושの川々の向こうから、…わたしが散らした者たち פוצの娘が、わたしへの捧げ物を携えて来るだろう。

ゼパニヤ書 3:9 の、「一つ思い (一つ肩)」で確認したのは、ノアの三人の息子のうちの二人、セムとヤフェテの子孫でした。ノアのもう一人の息子は、ハムであり、クシュはハムの子孫です。(創世記 10:6) 「散らした者たちの娘」とは、創世記 11 章の、バベルにおける言語混乱によって散らされた者たち פוצ を指していると考えられます。(創世記 11:8) また、詩篇の中では、このように語られています。

(新改訳 2017) 詩篇 87 篇 4 節

87:4 「わたしはラハブとバビロンを わたしを知る者として記憶しよう。 見よ ペリシテとツロ クシュ כושもともに。 『この者は この都 (シオン、神の都) で生まれた』と。」

バビロン、ラハブすなわちエジプト (イザヤ 30:7)、ペリシテ、ツロは、いずれもハムの子孫、もしくはハムの子孫が起こした王国や町であり (創世記 10:6、10、14、15、イザヤ 23:1、4) ハムの子孫が千年王国にいますが、記されています。したがって、クシュの川々の向こうから、主への捧げ物を携えてくる、主が散らした者たちの娘とは、ハムの子孫であることが分かります。

「一つ思い (一つ肩)」「クシュの川々の向こうに散らされた者たちの娘」を合わせて考えると、創世記 11 章の、バベルにおける言語混乱によって散らされた、セム、ハム、ヤフェテの子孫の、神に選ばれた者たちが、ゼパニヤ 3:9 の「もろもろの民」であると、考えることができます。

2. イスラエルの残りの者によって、多くの人が義に導かれ、一つ思いで主に仕える民が起こされる

ゼパニヤ書 3:9 の「(もろもろの) 民」 עם (アム) と、「(純粋な) 言語」 שפה (サーファー) は、バベルにおける言語混乱において初出個所があり、ゼパニヤ 3:10 の「散らした者たちの (娘)」 פוצ (プーツ) も、バベルにおける言語混乱で、多く登場します。(創世記 11:4、8、9) そこで、もろもろの民の言語が変えられて主に仕えるメンバーが、どのように起こされていくのか、ゼパニヤ書 3:9-10 と関連性が高い、創世記 11 章と合わせて、考えてみます。

(回復訳) 創世記 11 章 6-7、9 節

11:6 そして、エホバは言われた、「…

11:7 …彼らの言語を混乱させ、彼らが互いの言葉を理解することができないようにしよう」。

11:9 それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。エホバがそこで、全地の言語を混乱させ、エホバがそこから、人々を全地の面に散らされた**פּוֹצִי**からである。

バベルの言語混乱で、イスラエルはセムの子孫の腰の中に、クシュはハムの腰の中であって、全地の面に散らされました。

(English Standard Version) ゼパニヤ書 3章 10節

3:10 クシュ**כּוּשׁ**の川々の向こうから、わたしの崇拜者たち、わたしに散らされた者たち**פּוֹצִי**の娘が、わたしへの捧げ物を携えて来るだろう。

初代教会の時代、エルサレムの教会に対する迫害が起こり、使徒たち以外の信者はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされ**פּוֹצִי**ました。(使徒 8:1) その後、礼拝のためにエルサレムに上って来ていた、ハムの子孫であるクシュ人**כּוּשׁ**の宦官へ、セムの子孫であるイスラエル人ピリポから、イエシュアの福音が伝えられ、バプテスマを授けられて、自分の国に帰っていくことが記されています。(使徒 8:27、35、39) このように、イスラエルから異邦人へ福音が伝えられるのは、大きな苦難の時に起ることの型であり(ダニエル 12:1、3、マタイ 24:21)、「主に散らされた者たちの娘」が主に仕える者にされる型であると考えました。イスラエルが、主の御声に聞き従わず、命令と掟を守り行うことができなければ、あらゆる民の間に散らされることが、律法に記されています。(申命記 28:15、64) そして、イスラエルは、西暦 70 年に離散しました。(ゼカリヤ 13:7、マタイ 25:40) 以下は、イスラエルが散らされ**פּוֹצִי**、イスラエルの残りの者が集められ、セム、ハム、ヤフェテの子孫の中の(黙示録 7:9、創世記 10:5、20、31-32)多くの者を、義に導く預言が記されています。

(回復訳) エレミヤ書 23章 2-3節

23:2 …あなたがたは、わたしの羊の群れ**צֹאן**(イスラエル(エレミヤ 23:6, 8))を散らし**פּוֹצִי**、これを追い払って**נָדַח**、訪れなかった。…

23:3 …わたしはわたしの羊の群れ**צֹאן**の残された者**שְׂאִרִית**(イスラエルの残りの者(エレミヤ 23:6,8))をわたしが追いやった**נָדַח**すべての地から集め、彼らの牧場に連れ戻す。…

羊の群れの残された者、イスラエルの残りの者を、すべての地から、神は集めると言われています。散らされて、集められた羊の群れ、イスラエルの残りの者は、銀を練るように練られることが以下に記されています。

(新改訳 2017) ゼカリヤ書 13章 7-9節

13:7 …羊の群れ**צֹאן**(イスラエル(エレミヤ 23:6, 8))は散らされて行き**פּוֹצִי**、わたしは、この手を小さい者たち**צִעִר**に向ける。

13:8 全地はこうなる—主のことば—。その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一(民の残りの者(ゼパニヤ 2:9))がそこに残る**יָתֵר**。

13:9 わたしはその三分の一を火の中に入れ、銀を練るように**צָרַף**彼らを錬り**צָרַף**、金を試すように彼らを試す。

…

(新改訳 2017) ダニエル書 11章 35節

11:35 賢明な者たちのうちには倒れる者もあるが、それは終わりの時まで、彼らが錬られ צָרָה、清められ、白くされるためである。…

羊の群れの残された者 (エレミヤ書 23:3) = イスラエルの残りの者 (エレミヤ 23:3、6、8、ゼカリヤ 13:8) = 練られる者たち (ゼカリヤ 13:9、ダニエル 11:35) = 賢明な者たち (ダニエル 11:35) であると記されています。この、賢明な者たちは、多くの者を義に導くことが、以下に記されています。

(新改訳 2017) ダニエル書 12 章 3 節

12:3 賢明な者たちは大空の輝きのように輝き、多くの者を義に導いた者 צַדִּיק (分詞男複) は、世々限りなく、星のようになる。

イスラエル人が散らされ、イスラエルの残りの者が集められ、福音を伝え、セム、ハム、ヤフェテの子孫の神に選ばれた者たちが義に導かれます。義に導かれる者とは、復活に与る義人と (ルカ 14:14 צַדִּיק (男複)) 最も小さい者たち、イスラエルの残りの者に (マタイ 25:40 צַעִיר、ゼカリヤ 13:7 צַעַר) 良いことをした、正しい人たちであると考えられます。(マタイ 25:37 צַדִּיק (男複)) このようにして、ゼパニヤ書 3:9 「一つ思いになって主に仕える」者たち、ゼパニヤ 3:10 「主の崇拜者たち」「主への捧げものを携えて来る者たち」が起こされます。

3. 純粋な言語、とは

(回復訳) ゼパニヤ書 3 章 9 節

3:9 …わたしはもろもろの民の言語を変えて、純粋な צָרָה 言語 שָׂפָה にする。

① 同じ言語は、一致することをもたらす

言語と訳された שָׂפָה (サーファー) の初出箇所から、セム、ハム、ヤフェテの子孫、すなわち全人類の中の選ばれた人たちが、同じ言語になると、どのようなことが起こるのか、考えてみます。

(回復訳) 創世記 11 章 1、4-5 節

11:1 …全地は一つの言語 שָׂפָה と同じ言葉であった。

11:4 …彼らは言った、「さあ、町と塔を建てて、塔の頂を天に届かせよう。そしてわたしたちのために名を挙げて、わたしたちが全地の面に散らされないようにしよう。」

11:5 …エホバは下って来て、人の子たちが建てた (完了形) 町と塔を見られた。

全地は一つの言語でした。創世記 11:5 の建てた、は完了形で記されており、彼らが 4 節に記されている目的、「町と塔を建てて、塔の頂を天に届かせ…名を挙げて、全地の面に散らされないように」を遂行するために、一致して町と塔を建てたことが分かります。そのため、שָׂפָה (サーファー) の初出箇所から、同じ言語である

ことは、同じ目的のために一致するようになることが伺えます。千年王国における民たちの目的とは、イスラエルの土地の相続（創世記 13:15、詩篇 105:8-10、創世記 26:3）、イスラエルの子孫が空の星のように増えること（創世記 15:5）、イスラエルによってすべての国々が祝福を受けること（創世記 22:18、詩篇 105:8-10、創世記 26:4）、神とともに住むこと、イエシュアが王として統治すること（2 サムエル 7:11-16、詩篇 27:4、ルカ 1:32、箴言 16:12、25:5、）など数々の契約の成就であると、考えられます。（エゼキエル 37:24-26）これらの目的のために、千年王国の民たちは、言語を同じくされ、一致するようになると、考えることができます。

② 純粋な言語とは、神を見る言語

「純粋な」と訳された語彙は、**בָּרַר**（バーラル）です。関連語の、清い、と訳される、**בָּרַ**（バル）から、純粋な言語とは何か、考えてみます。

（口語訳） マタイの福音書 5章8節

5:8 心の清い人たちは**בָּרַר**は、さいわいである、彼らは神を見るであろう。

心の清い人たちは**בָּרַר**は、神を見る、と記されています。ゼパニヤ 3:9 の、もろもろの民を「純粋な **בָּרַר** 言語」に変える、とは、神を見る言語に変えられることであると、考えることができます。

③ 言語（唇）とは、イエシュアを愛する言語、ヘブル語

שָׂפָה（サーファー）は、言語、の他に、唇、という意味もあります。唇と訳されているところから、純粋な言語とはなにか、見てみます。

（新改訳 2017） 箴言 18章20節

18:20 人はその口**פֶּה**・στόμα の結ぶ実**פְּרִי**・καρπός によって腹を満たし、その唇**שָׂפָה**の収穫で満ち足りる。

口**פֶּה**（ペ）と、唇（言語）**שָׂפָה**（サーファー）は同義であることが分かります。口の結ぶ実とは何か、見てみます。

（新改訳 2017） マタイの福音書 12章33-34節

12:33 …木の良し悪しはその実 **καρπός**・פְּרִי によって分かります。

12:34 …心 **καρδία**・לב に満ちていることを口 **στόμα**・פה が話すのです。

箴言 18:20 と合わせて考えると、心に満ちていることを口が話したものが実であり、口の結ぶ実であることが分かります。千年王国における民たちの、心に満ちているものとは、なんでしょうか。

（新改訳 2017） エレミヤ書 31章31、33節

31:31 見よ、その時代が来る—主のことば—。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、新しい

契約を結ぶ。

31:33…わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである—主のことば—。わたしは、わたしの律法 **תּוֹרָה** を彼らのただ中に置き、彼らの心 **לֵב**・καρδία にこれを書き記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

新しい契約が結ばれた、千年王国における民たちの心にあるものとは、主の律法であることが分かります。したがって、千年王国の民たちは、心に書き記された律法を口が話すようになることが分かります。律法とは、イエシュアを愛することに集約されます。(マタイ 22:35-40、ルカ 10:29-37、ヨハネ 1:1, 14) また、律法は、ヘブル語で記されているため、新しい契約が結ばれた、千年王国の民たちは、ヘブル語を話すようになる、と考えることができます。

以上のことから、ゼパニヤ 3:9 の、純粋な言語に変えられるとは、神を見る言語、ヘブル語に変えられることであり、イエシュアを愛する言語、イエシュアを知る知識に満ちた言語を、(1 ヨハネ 4:7-8、イザヤ 11:9) 新しい契約が結ばれた民の口が話すように変えられ、同じ目的(数々の契約の成就)のために一致することがもたらされると、考えることができます。

4. 一つ思いで彼(主)に仕える、とは

(回復訳) ゼパニヤ書 3章9節

3:9 …一つ思いで彼に仕える **עֲבַד**。

① 主に仕えるとは、主の御声に聞き従うこと

(新改訳 2017) ヨシュア記 24章24節

24:24 民はヨシュアに言った。「私たちの神、主に仕え **עֲבַד**、主の御声に聞き従います **שָׁמַע**。」

この箇所からは、「主に仕え」ることと、「主の御声に聞き従」うことが、同義であることが分かります。聞き従うことは、聖霊により、イエシュアと一つになることよって実現します。(詩篇 53:2-3 **בְּגִי אֲדָם**、**סוּג**、イザヤ 50:4-5 **סוּג**、**שָׁמַע**、申命記 30:6, 8、ローマ 2:29、ヨハネ 14:17, 20)

② 彼(主)に仕えるとは、主に結びつき、主を畏れ、彼のすべての道に歩み、主を愛し、律法を守ること

以下の御言葉の下線を引いた部分は、すべて、前置詞 **ל** (ラーメド) + 不定詞で記されており、同義であると考えました。

(回復訳) 申命記 10章12-13節

10:12 今、イスラエルよ、エホバ・あなたの神があなたに求めておられるのは、ただあなたが、エホバ・あな

たの神を畏れ **לִירָאָה**、彼のすべての道に歩み **לְלַכֵּת**、彼を愛し **לְאַהֲבָה**、心を尽くし、魂を尽くしてエホバ・あなたの神に仕え **לְעַבְדוֹ**、

10:13 わたしが今日あなたに命じているエホバの戒めと彼のおきてを守って **לְשָׁמַר**、幸いを **לְטוֹב** 得ることである。

(回復訳) ヨシュア記 22 章 5 節

22:5 ただし、よくよく気を付けて、エホバのしもべモーセがあなたに命じた戒めと律法を守り行い **לְעֲשׂוֹת**、エホバ・あなたがたの神を愛して **לְאַהֲבָה**、彼のすべての道に歩み **לְלַכֵּת**、彼の戒めを守って **לְשָׁמַר**、彼をしつかり捕え **לְדַבְּקָה**、心を尽くし、魂を尽くして、彼に仕え **לְעַבְדוֹ** なさい。

以上のことから、ゼパニヤ 3:9 の、「一つ思いで彼（主）に仕える」とは、主にしっかり結びつく、すなわち霊によってイエシュアにとどまり (ヨハネ 15:4、創世記 2:24、マラキ 2:15)、イエシュアに聞き従い、主を畏れ、律法を守り行い、民が幸いを得、主のすべての道に歩み、主を愛することであると、考えることができます。

5. 千年王国で、町を建てる

ゼパニヤ書 3:9-10 と関連性が高いと考えた、創世記 11 章において、一つの言語、一つの民であったセム、ハム、ヤフェテの子孫は、一致して、町を建てましたが、神が言語を混乱させたため、彼らは町を建てるのをやめた、と記されています。そのため、千年王国で、もろもろの民の言語を純粋な言語に変えられることと、町を建てることは、関連性が高いのではないかと考えました。そこで、千年王国において、彼らが町をどのように建てるのか、見てみます。

① イスラエルの残りの者が廃墟を建て直す

(回復訳) イザヤ書 61 章 3-5 節

61:3 シオンで嘆き悲しむ者たち **אֲבֵל** (イスラエルの残りの者 (哀歌 1:4、ゼカリヤ 12:9-10、1 テサロニケ 4:16-17、ゼパニヤ 3:12-13、マタイ 5:3、ヨハネ 3:5)) …

61:4 …彼ら (イスラエルの残りの者) は太古の廃墟 **חֲרָבָה** を建て直し **בְּנָה**、以前の荒れ跡 **שְׁמִם** を起こし、荒廃 **חֲרָב** の町々、代々にわたる荒れ跡 **שְׁמִם** を修復する。

預言者ダニエルによって語られた荒らす **שְׁמִם** 忌まわしいものが、聖なるところに立つため (マタイ 24:15)、シオン (エルサレム) は荒れ跡となりますが、イスラエルの残りの者は廃墟を建て直し、荒廃の町々、荒れ跡を一新し、そこは、エデンの園のようになり、堅固になり、人が住むようになると記されています。 (エゼキエル 36:35 **שְׁמִם・חֲרָב**)

② 異邦人がイスラエルの残りの者をサポートする

(回復訳) イザヤ書 61 章 5 節

61:5 他国人は、立ってあなたがたの羊の群れ צאן を養い、外国人の子たち בני נֶכָרִים は、あなたがたの畑を耕す者、ぶどう園を手入れする者となる。

他国人はイスラエルの残りの者の羊の群れを飼い、外国人の子たちはイスラエルの残りの者の畑を耕す者となって、ぶどう園を手入れするという、協力関係が見えてきます。千年王国において、その地（イスラエル）のすべての民は、群れ צאן から二百匹につき一匹を奉納物として君主に納め、君主は新月の祭り、安息日などあらゆる例祭や、イスラエルの宥めのために、全焼のささげもの、罪のきよめのささげもの、交わりのいけにえなどを献げることが記されており（エゼキエル 45:15-17）他国人はその羊の群れを養うこととなります。

「外国人の子たち」と訳された בני נֶכָרִים（ヴェネー ネーハール）は、異邦人と訳される、גוֹיִם（ゴーイム）の категорияであると記されています。（詩篇 18:43-45）そのため、この「外国人の子たち」とは、復活の体を持たない者たち、エルサレムに攻めて来たすべての民の生き残った者たちや、イスラエルの残りの者に良くした者たち、また彼らが産む子どもたちを指していると考えられます。（ゼカリヤ 14:16、マタイ 25:34-40）バビロン捕囚から帰還し、エルサレムの再建を行ったユダヤ人たちを、異邦人は妨害しましたが（ネヘミヤ 4:1-4、5:19）外国人の子たちは、千年王国でエルサレムの城壁を建てるのが記されており、イスラエル人と異邦人の隔ての壁が取り去られていることが分かります。（イザヤ 60:10）彼らが、イスラエルの残りの者たちに仕える者となる理由は、続く 6 節に記されています。

③ イスラエルの残りの者が祭司の務めをする

（回復訳） イザヤ書 61 章 6 節

61:6 …あなたがたはエホバの祭司と呼ばれ、人々はあなたがたを、わたしたちの神に仕える者と言う。 …

イスラエルの残りの者を外国人の子たちが助けるのは、イスラエルの残りの者が祭司として神に仕えるためであると、考えることができます。祭司は、トーラーを教える役割が与えられています。（申命記 33:10、レビ 10:11）そのため、イスラエルの残りの者は、二つの戒めに集約されるトーラー、神と人を愛すること、すなわちイエシュアを愛することを、異邦人や、イスラエルの残りの者が産む子どもたち、異邦人が産む子どもたちへ教える務めに（イザヤ 54:3、申命記 6:9）専心するようになると、考えることができます。ゼカリヤ書 8:23 には、「それらの日には、あらゆる言語 לשון（注）の諸国民 גוֹיִם の中から十人の者がつかみ、すなわち一人のユダヤ人の裾 קַנְפֵּי をつかんで言う、『あなたがたと一緒に行こう。神があなたがたと共におられることを聞いたからだ。』（口語訳）」と記されており、イスラエルの残りの者の語るトーラーの解き明かしは、神とユダヤ人がともにいることを、ありありと表現するものであることが分かります。千年王国では、イスラエル人も、異邦人も同じ言語 הֶפְזָה、ヘブル語をもつため、異邦人は語られる解き明かしを、聖霊によって大いに理解し、悟ることができるようにされると考えられます。また、イスラエルの残りの者が祭司の務めをすることによって、イスラエルの羊の群れを養い、畑を耕す異邦人がイスラエルの地に寄留することに繋がる可能性も考えられます。（エゼキエル 47:22）

（注）千年王国の民たちは、הֶפְזָה が変えられますが、לשון は残るようです。

④ アブラハムの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる

(回復訳) イザヤ書 61章8-9節

61:8 まことに、わたし、エホバは公正を愛し、悪による強奪を憎み、真実をもって彼らに報酬を与え、永遠の契約を彼らと結ぶ。

61:9 彼らの子孫は諸国民の間で、彼らの末はもろもろの民の中で知られる。彼らを見る者はみな、彼らがエホバの祝福された子孫であることを認める。

イスラエルの残りの者は、御霊による心の割礼によって (申命記 30:6、ローマ 2:29)、律法の戒め (イエシュアを愛すること (申命記 30:6、マタイ 22:35-40、ルカ 10:29-37)) と、定めを守るようになります。(口語訳・申命記 30:10) そうして、イスラエルの残りの者は、生きるようになり (申命記 30:6) 祝福を選ぶようになります。(申命記 30:19) イザヤ書 61:9 の、主に祝福された子孫は、主がアブラハムに誓われたように、大いに祝福され、地のすべての国々に影響を及ぼして、地のすべての国々が祝福を受けるようになります。(創世記 22:17-18) 律法を犯して定めを変えると、契約を破ることになる、と記されていますが (イザヤ 24:5)、千年王国では、御霊による心の割礼によって、律法を守るようになるため、数々の契約が成就すると考えることができます。

まとめ

ゼパニヤ書 3:9-10 には、神が、もろもろの民の言語を変え、純粋な言語にされることで、彼らが一つ思いで主に仕える姿が預言されています。この「もろもろの民」とは、バベルの言語混乱によって散らされたセム、ハム、ヤフェテの子孫すべての中の、神に選ばれた者たちを指していることが記されていました。

「一つ思いで彼 (主に仕える)」とは、もろもろの民がイエシュアに結びつき、聞き従い、主を恐れ、主を愛することであると考えました。また「純粋な言語」とは、心に書き記された律法を語る言葉であることを見ました。律法はイエシュアを愛することに集約されます。千年王国の民はイエシュアを知る知識に満ち、神を見ることができ、ヘブル語を話すようになると考えました。そのため、現代の教会がヘブル語を学ぶことは、千年王国を知り、イエシュアを知り、愛し、表現するために有用であると考えます。聖霊の営みとともにヘブル語を辿り、主の御霊が集めた御言葉の伴侶へと導かれ、イエシュアを知ることが、永遠のいのちの流れに与ることです。(イザヤ 34:16、ヨハネ 17:3)

言語が変えられる、もろもろの民は、散らされ、練られた「イスラエルの残りの者」が多くの者を義に導くことで起こされていきます。千年王国でイスラエルの残りの者は「主の祭司」と呼ばれるようになります。祭司の務めは、イエシュアを愛するという律法をイスラエルの残りの者の子孫と、異邦人と、その子孫に教えることです。異邦人は、イスラエルの残りの者の働きを助けます。こうして、かつてバベルで散らされた全人類の末裔である神に選ばれた者たちが、純粋な言語によって一致します。そして、イスラエルが受ける祝福によって、地のすべての国々が祝福を受けるようになります。このようにして、一つになって主に仕える民が起こさ

れ、養われ、増え広がっていくことを見ました。